

MCAP-CR方式 N. D. R. システム「バンビーノ」

【主旨】

大口径ユニットを使ったMCAP-CR方式、及び N. D. R. 方式の実験。

【製作意図】

MCAP-CR方式の「少ないエンクロージャ容積で、豊かな低域補完が可能」という特徴を生かし、通常なら大きな容積を必要とするため現実的ではない、大口径ユニットを使ったN. D. R. システムを作ってみる。

【構造】

主空気室と副空気室の部分で上下に2分割できる構造です。

ダブルバスレフ部のダクトは、内側の第一ダクトを低く、大気開放の第二ダクトを高い周波数にチューニングしています。チューニング周波数は、38.9Hzと70.1Hz、48.9Hzと89.4Hzの組み合わせになっています。

〔上部エンクロージャ〕

主空気室のみで、ユニットを3基搭載。

N. D. R. の動作をさせるため、ユニット同士が120度の角度を成すよう配置してあります。フロントに30cmユニット、サイドに25cmユニット2基を配置。

容積は約54リットルです。

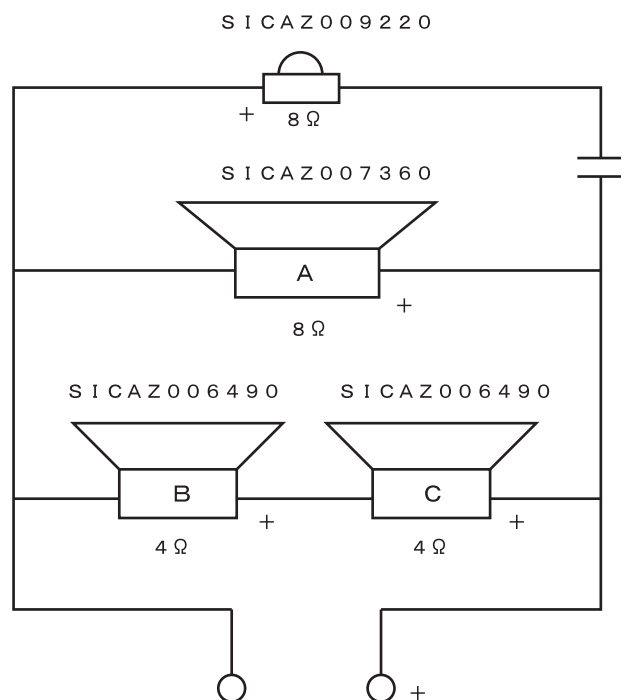
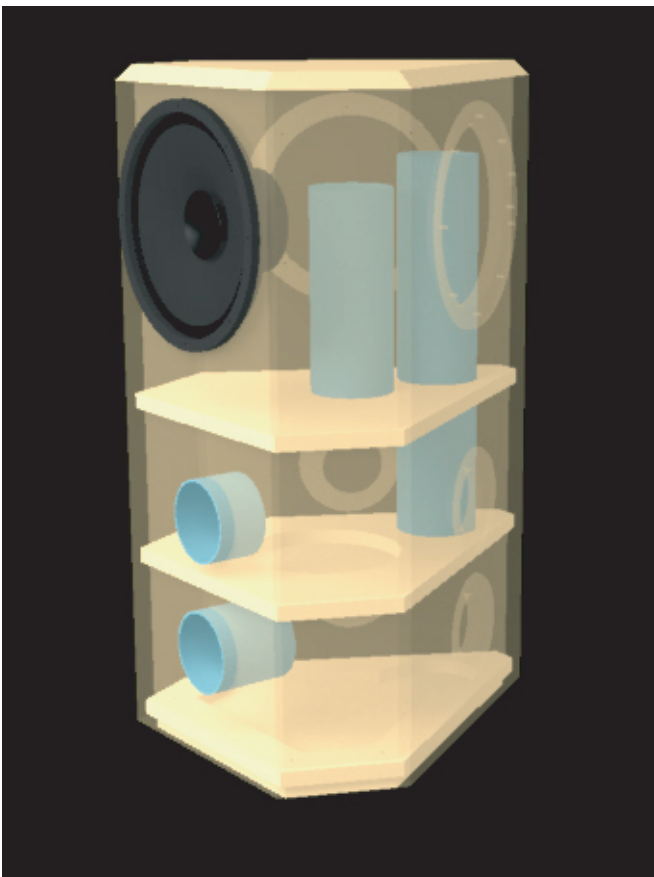
〔下部エンクロージャ〕

副空気室を2つ上下に配置した構造です。

容積は第一副空気室（上）が約30リットル、第二副空気室（下）が約38リットルです。

〔上部構造物〕

ツイーターを取り付けた可動バッフル板と、サイドユニットに対する延長バッフルの働きをするピラミッド構造体を設置しています。



配線図